

びわ湖高島

近江戦国専門の
第一人者 太田浩司氏と
ともに巡ります

1泊2日プラン

信長の朝倉攻め

2026年12月1日(火)・2日(水)



ご旅行条件（要約）

＜お申し込みの前にご確認ください＞

旅行商品にあたるプランについて
このプランは旅行業法上の募集型企画旅行商品にあたり、以下の旅行条件が適用されます。なおこの記載内容は旅行業法第12条の4に定める取引条件の説明書及び同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。この旅行は、びわ湖高島観光協会が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当協会と募集型企画旅行契約を締結していただくこととなります。契約の内容は記載されている条件のほか、協会旅行規約款募集型企画旅行契約の部、および出発前にお渡しする確定書面によります。

お申込み方法

○お申し込みは、当協会所定の申込書に記載した必要事項を、電話・メール・FAXにて連絡いただき当協会より受付確認の旨、お伝えした時点をもってお申込みが成立いたします。なお、キャンセルの場合はそのままにせず、必ずお電話でお取り消し下さい。
○申し込みにあたっては参加を希望するプラン、参加全員の氏名、住所、連絡先電話番号、生年月日をお伝えください。

旅行代金のお支払い方法

○旅行代金は、旅行開始前までの契約書面に記載する期日までに、契約書面に記載する金額をお支払いいただきます。

旅行代金に含まれないもの

○集合場所までの交通費・当協会に個人的依頼をした場合や別行動をした諸経費・傷害・疾病に関するものなど個人的な諸経費は各自負担となります。

キャンセルについて

○お客様のご都合で旅行をキャンセルされる場合には、参加料（旅行代金）に対してお一人様につき下記の料率で取消料をいただきます。日程と

びプランの変更も同様といたします。下記取消料は開催日の前日から起算します。なお、取消の連絡は営業時間内に電話でお願いします。
○当協会営業時間外の取消は、翌営業日の取消扱いとなります。手紙・FAX等のご連絡の場合は当協会に到着した日の翌営業日の取扱となり、お客様に不利が生ずる場合があります。当日の取消とは、出発日・集合時刻が当協会の営業時間内であり、当協会に電話で直接取消の連絡をいただいた場合に限りです。

取消日	取消料
開始日（出発日）7～2日前	旅行代金の30%
開始日（出発日）の前日（1日前）	旅行代金の40%
当日（集合時間前）、ただし当社営業時間	旅行代金の50%
旅行開始（集合時間）後又は無連絡不参加後、前途放棄	旅行代金の100%

旅行開始後、お客様による契約の解除、お客様の都合により旅行サービスの一部を受領しなかった場合、お客様の権利放棄とみなし、いっさいの払い戻しを致しません。

当協会による契約の解除

○以下の事項に該当する場合、理由を説明の上、契約を解除することがあります。○あらかじめ明示した申込条件の不適合。（技能、団体旅行における協調性に欠ける方など）○病気その他の事由により当該旅行（団体旅行）に支障がある場合

国内旅行傷害保険加入のすすめ

○主催者において保険は加入しておりますが、安心してご参加いただくため、お客様ご自身でも保険をおかけになることをおすすめいたします。

免責事項

○次の場合、賠償責任は負いません。○天災地変・気象状況・暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更若しくは旅行中止。○運送・宿泊機関の事故もしくは、火災又はこれらのために生ずる旅行日程の変

更若しくは旅行の中止。○官公署の命令、又は伝染病による隔離、自由行動中の事故、食中毒、盗難 ○運送機関の遅延、不通又はこれらによって生ずる旅行日程の変更若しくはは目的地・滞在時間の短縮

特別補償

○お客様が募集型企画旅行参加中に、生命、身体又は手荷物に被られた一定の損害については、当協会の故意、過失の有無にかかわらず特別補償規定に定めるところにより、補償金及び見舞金をお支払いいたします。

旅程保証

○旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款（募集型企画旅行契約）の規定により、その変更の内容に応じて旅行代金の1%～5%に相当する額の変更補償金を支払います。ただし一旅行契約について支払われる変更補償金の額は、旅行代金の15%を限度とします。また一旅行契約について変更補償金の額が1,000円未満の場合は、変更補償金は支払いません。

個人情報の取り扱い

○当協会は旅行申込の際にご提供いただいた個人情報についてのお客様への連絡や運送、宿泊機関等の手配およびそれらのサービスの受領のために必要な範囲内で利用いたします。
○当協会では・取り扱う商品、サービス等のご案内・ご意見・ご感想の提供・アンケートのお願い・統計資料の作成・本旅行時撮影の写真を使用したパンフレット等の作成にお客様の個人情報を利用させていただく事があります。

企画・実施・募集

びわ湖高島観光協会（滋賀県知事登録第3-231号）
旅行業務取扱管理者：小林 雅人
住所 滋賀県高島市新旭町旭1丁目10-1
Tel. 0740-33-7101 Fax. 0740-33-7105
E-mail biwako@takashima-kanko.jp

びわ湖高島観光協会

TEL：0740-33-7101

びわ湖高島 戦国ツアー

1泊2日プラン

信長の朝倉攻め

信長の命運を分けた！10日間の物語

元亀元年(1570)に織田信長が行った朝倉攻め。最終的に浅井氏の裏切りにより織田軍は撤退を余儀なくされます。この織田軍の一連の進軍および撤退の足跡を、太田浩司氏の解説のもと、1泊2日をかけて辿りながら、ゆかりのある高島市および周辺地域の魅力を感じてください。道中で訪れる歴史的なスポットの他、宿泊地や休憩スポットでご当地ならではの自然や特産品も併せてお楽しみください。

開催日
2026年12月1日(火)～2日(水)

※山城登りが行程に含まれます

旅行代金 大人：おひとり 38,500円(税込)
(1泊3食、ガイド料、バス代、入場料、保険代等含む)

定員 20名(最少催行人数10名)

集合・解散場所 JR安曇川駅

申込締切日 開催日の10日前まで

宿泊について 2～4名の男女別相部屋になります。
おひとり部屋をご希望の場合は、別途2,000円(税込)が必要。《先着順》

行程《1日目》

9:00 JR安曇川駅 集合
中江藤樹・たかしまミュージアム(ツアーの講座)
田中城跡(登城／約2km)
熊川宿
保坂の道標
箱館山民宿 いづみや 到着・宿泊

19:00～ 談話会



高島竹の皮腰弁当



近江牛すき焼き



箱館山民宿 いづみや 外観



箱館山民宿 いづみや 室内



保坂道標

田中城跡

田中城跡 / 滋賀県高島市安曇川町田中

佐々木田中氏の居城とされています。標高約221mの主郭からは、安曇川や鴨川によって形成された平野や琵琶湖を一望することができます。元亀元年(1570)、越前朝倉攻めに向かった織田信長が宿泊したとされています。諸説ありますが、『米田文書』には、永禄9年(1566)に若かりし頃の明智光秀が籠城していたとあり、明智光秀と深い関係があったことがうかがえます。



熊川城跡 / 福井県三方上中郡若狭町熊川

近江国と若狭国の国境に近く、九里半街道(若狭街道・鯖街道)を眼下に見渡せる標高約185mの好所に位置しています。沼田氏によって、築かれたと考えられています。熊川城主である沼田光兼の娘の麿香は、細川藤孝に嫁いており、細川氏と強いつながりをもっていました。



佐柿国吉城跡 / 福井県三方郡美浜町

若狭国と越前国の国境を守る山城で、標高約200mに位置し、若狭国守護大名武田氏の重臣である栗屋越中守勝久が、弘治2年(1556)に古城を利用して築いたとされています。永禄6年(1563)から朝倉氏が滅亡する天正元年(1573)まで、ほぼ毎年、侵攻してくる朝倉勢を撃退し、一度も落城しなかった不落の城として伝えられています。



金ヶ崎城跡・金崎宮 / 福井県敦賀市金ヶ崎町

金ヶ崎城は、標高約90mの天筒山から北西に延びる尾根上に築かれました。朝倉氏の前線基地と考えられています。織田信長は、4月25日に天筒山城を陥落させ、翌26日には金ヶ崎城を陥落させています。



天筒山城跡 / 福井県敦賀市泉

天筒山城は、金ヶ崎城の南に位置する天筒山に築かれた山城で、金ヶ崎城の支城として重要な役割を果たしていました。標高は、約170mで、敦賀湾や旧北陸道、金ヶ崎城を見渡すことができます。



保坂の道標 / 滋賀県高島市今津町保坂

金ヶ崎の退き口において、織田信長が退却時に通ったと考えられる「若狭街道」の分岐点。織田信長は、ここで、進路を右にとり朽木を目指し最大の危機を乗り切りました。当該地には、安永4年(1775)に建立された道標があります。



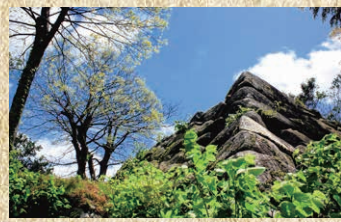
市場の街並み / 滋賀県高島市朽木市場

朽木の旧街道沿いにある圓満堂跡は、朽木元綱が朽木越えて撤退する織田信長を接待した場所で、織田信長は当地で休息します。その際、接待役であった長谷川惣兵衛茂元が、信長から鹿革製のたちつけ(袴)と銀製の簪を賜ったことが『長谷川家先祖書』に記されています。



大溝城跡 / 滋賀県高島市勝野

明智光秀が設計、天正6年(1578)年に信長の甥・織田信澄が築城。信澄は明智光秀の娘と結婚し、信長の一門衆・側近として重用され活躍。琵琶湖から舟で本丸へ乗りつけることもできたという船着場の遺構が発掘調査で見つかるなど、琵琶湖畔にある水城としての往時を連想させます。



大溝陣屋 / 滋賀県高島市勝野

2024年に復元が完了し、城下町の趣を今に伝えます。総門は大溝陣屋の正門で、かつて総門を境として南は武家屋敷、北は町人町でした。現在、まちづくりと観光の拠点と、資料室として活用されています。(資料室 10:00～17:00 / 休み・水曜日(祝日の場合はよく平日))



大善寺 / 滋賀県高島市勝野

織田信長の甥である織田信澄が天正6年(1578)に大溝城主となった際、もともと新旭町の新庄にあった大善寺の別院として勝野の浜辺あたりに建立されたと伝えられています。延宝4年(1676)に現在の場所に移転されました。境内には織田信澄の供養塔があります。



信長が築かせた水城と城下町を歩く

織田信長が琵琶湖の制海権を掌握するにあたって築かせた4つの城のうち、高島市にある大溝城は令和10年で築城450年を迎えます。築城者である織田信澄や江戸時代到大溝を治めた分部氏によって整備された水路や町並みの歴史的背景を、太田浩司氏とともに巡ります。現存する大溝城の石垣や、城下の町割り水路などを通して、大溝の歴史的な魅力をお楽しみください。

日帰りプラン

織田信澄大溝

開催日
2026年12月13日(日)

旅行代金 おひとり 4,980円(税込)
(昼食、保険代、ガイド料等含む)

定員 15名(最少催行人数8名)。

集合・解散場所 JR近江高島駅

申込締切日 開催日の5日前まで

歩行距離 約3km

行程

9:50 JR近江高島駅集合
総門
大溝城跡

12:00 昼食／和食御膳
総門
城下町のまち並み
町割り水路
大善寺・信澄の供養塔

15:00 JR近江高島駅 解散



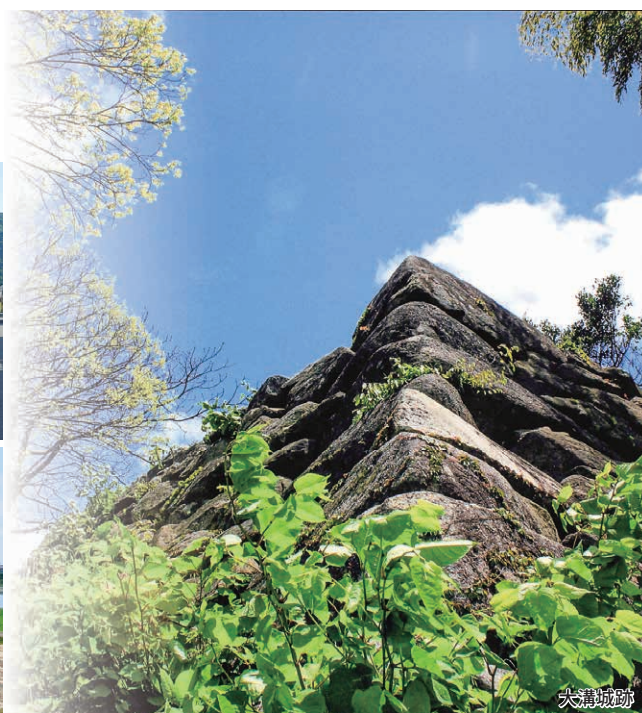
昼食イメージ



町割り水路



乙女ヶ池



大溝城跡

専門ガイドが
歴史を解説

おた ひろし
太田 浩司氏
淡海歴史文化研究所
所長



1961年、東京都生まれ。長浜市曳山博物館長。博士(史学)。明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程修了。専攻は日本中世史・近世史。1986年から長浜市長浜城歴史博物館に学芸員として勤務。2014年から3年間、同歴史博物館長を勤める。2018年から市民協働部学芸専門監を勤めた。2022年に長浜市役所定年退職。2011年のNHK大河ドラマ『江』では時代考証スタッフをつとめる。戦国時代に関する多数の著書がある。

各ツアーのお申込先

びわ湖高島観光協会 TEL: 0740-33-7101 FAX: 0740-33-7105
Mail: biwako@takashima-kanko.jp

氏名・性別・生年月日・住所・電話番号をおしらせください。ホームページ「びわ湖高島観光ガイド」からのお申込みも可能です。グループでお申込の場合は、代表者の方にご案内を郵送させていただきます。